

会報

日本食品化学学会 2018 年度第 1 回理事会議事録

日 時： 2018 年 3 月 3 日 (土) 13:00 ~ 16:00

場 所： 大阪ガーデンパレス 2 階 松 (大阪市淀川区西宮原 1-3-35)

出 席： 今井田 克己、合田 幸広、山崎 裕康、穂山 浩、井上 健夫、小川 久美子、奥村 克純、手島 玲子、中江 大、
中村 宗一郎、松浦 寿喜、鰐淵 英機、尾崎 麻子、日下部 哲也
(以上 14 名)

欠 席： 小関 良宏、辻村 英雄、井之上 浩一 (委任状 3 通 / 議長)

【議 案】

1. 加藤理事退任 (2017 年 12 月) による後任者の指名
2. 第 12 期評議員選挙開票および候補者の推薦 (総会提出議案)
3. 2018 年度 第 24 回総会・学術大会について
4. 2017 年度 事業報告書案および決算報告書案の作成 (総会提出議案)
5. 2018 年度 事業計画書案および収支予算書案の作成 (総会提出議案)
6. 第 20 回 奨励賞受賞者の決定
7. 第 13 回 論文賞受賞者の決定
8. 日食化誌の予定と進捗の報告
9. 2018-2019 年度編集委員の承認
10. 名誉会員の推薦 (総会提出議案)
11. 評議員会提出議案について
12. 2019 年度シンポジウム専門担当理事の選任
13. 次々期 (2020 年度) 学会長の総会への推薦 (総会提出議案)
14. その他 (その他の総会提出議案、本会の運営に関する事)

1. 加藤理事退任（2017年12月）による後任者の指名

加藤理事退任に伴い、日下部哲也氏が後任に指名された。

2. 第12期評議員選挙開票および候補者の推薦（総会提出議案）

総投票数：152票、次の個人会員20名を評議員候補者として総会に提出することとなった。

50音順

氏名	所属
秋場 高司	アサヒグループ食品株式会社 研究開発企画部
一色 賢司	一般財団法人 日本食品分析センター
伊藤 澄夫	富永貿易株式会社
伊藤 美千穂	京都大学大学院 薬学研究科
伊藤 裕才	共立女子大学 家政学部
片山 茂	信州大学 農学部
川原 信夫	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター
魏 民	大阪市立大学大学院 医学研究科 都市環境病理学
佐藤 恭子	国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部
堤 智昭	国立医薬品食品衛生研究所 食品部
鳥羽 真由子	サントリー MONOZUKURI エキスパート株式会社
長岡 寛明	長崎国際大学薬学部
林 新茂	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
政田 さやか	国立医薬品食品衛生研究所 生薬部
松藤 寛	日本大学 生物資源科学部
宮下 隆	キューピー株式会社 品質保証本部 食品安全科学センター
森川 敏生	近畿大学 薬学総合研究所 食品薬学研究室
矢野 竹男	三重大学大学院 地域イノベーション学研究所
良永 裕子	麻布大学 生命・環境科学部 食品生命科学科食品分析化学研究室
義平 邦周	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社

3. 2018年度第24回総会・学術大会について

中江理事より第24回総会・学術大会の内容および準備状況について説明があった。

(1) 第24回総会・学術大会の開催

学 会 長： 中江 大（東京農業大学応用生物科学部 教授）

日 時： 2018年5月17日（木）～5月18日（金）

場 所： 東京ビックサイト（東京都江東区有明 3-11-1）

学会長講演：「生活習慣病とがん：食事組成の変化による動物モデル（仮題）」

中江 大（東京農業大学応用生物科学部 教授）

特別講演①：「食品の安全性評価と食品安全委員会（仮題）」

吉田 易範（内閣府 食品安全委員会事務局 評価第一課長）

特別講演②：「Glucose Releasing Ratio to evaluate the quality of dietary carbohydrate（仮題）」

佐々木 一（神奈川工科大学 応用バイオ科学部生命科学科 教授）

特別講演③：「食品安全行政の現状と課題（仮題）」

関野 秀人（厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課長）

特別講演④：「森林資源の有効利用～キノコの機能性と人工栽培を通して～（仮題）」

江口 文陽（東京農業大学 地域環境科学部森林総合科学科 教授）

奨励賞受賞者講演：

一般発表： 口頭およびポスター（演題募集中）

- 関連行事： ①若手優秀発表賞、②交流会 (5/17、8F レストラン アルポルト)、③企業展示 (募集中)、
④ランチョンセミナー (募集中)
- 参加費： 学術大会 会員 4,000 円、非会員 6,000 円、学生 1,000 円
交流会 (予定) 事前申込 7,000 円、当日申込 9,000 円、学生 3,000 円

(2) 第 24 回総会・学術大会実行委員の承認

学術大会運営の為、下記名の実行委員の推薦があり、承認された。

佐藤 恭子 (実行委員長) (国立医薬品食品衛生研究所)	煙山 紀子 (東京農業大学)
美谷島 克宏 (東京農業大学)	小野瀬 淳一 (東京農業大学)
高橋 信之 (東京農業大学)	岩槻 健 (東京農業大学)
田村 倫子 (東京農業大学)	小川 久美子 (国立医薬品食品衛生研究所)
穂山 浩 (国立医薬品食品衛生研究所)	秋場 高司 (アサヒグループ食品株式会社)
小林 千種 (東京都健康安全研究センター)	宮下 隆 (キュービー株式会社)
荒井 祥 (株式会社ウエノフードテクノ)	羽田 三奈子 (アナリティックセンス株式会社)
古久保 進 (サントリービジネスエキスパート株式会社)	金城 輝則 (アジレント・テクノロジー株式会社)
瀧川 義澄 (アジレント・テクノロジー株式会社)	植田 泰輔 (シグマアルドリッチジャパン合同会社)
古庄 義明 (ジューエルサイエンス株式会社)	原田 修一 (林純薬工業株式会社)
四柳 雄一 (株式会社島津製作所)	水井 浩司 (和光純薬工業株式会社)
田代 彩子 (林純薬工業株式会社)	清水 亮輔 (日本食品添加物協会)
今立 恵美 (株式会社食品化学新聞社)	中川 誠 (三栄源エフ・エフ・アイ株式会社)
井上 健夫 (三栄源エフ・エフ・アイ株式会社)	
森本 隆司 (三栄源エフ・エフ・アイ株式会社)	

4. 2017 年度 事業報告書案および決算報告書案の作成 (総会提出議案)

下記の内容で総会への提出が承認された。

4-1. 事業報告書案

(1) 第 2 回食品科学研究のための基礎セミナーの開催

- 担当理事： 穂山 浩 (国立医薬品食品衛生研究所)
- 日 時： 2017 年 1 月 21 日 (土) 10:00 ~ 15:00
- 場 所： 食品衛生センター内 5 階講堂 (東京都渋谷区神宮前 2-6-1)
- セミナー内容：「実験研究の成果発表 (エビデンス) の重要性について」

奥伊勢バイオサイエンスセンター 今井田理事長 松尾 雄志

「学術論文の読み方、書き方 (基本編) : Regulatory Science における論文の意味を踏まえて」

国立医薬品食品衛生研究所 食品部長 穂山 浩

「論文は自己表現の一つです。」

麻生大学 生命・環境科学部食品生命科学研究科食品安全科学研究室教授 小西 良子

ランチョンセミナー : 「学位論文を書くに至るまで」

三重大学大学院・地域イノベーション学研究所 教授 矢野 竹男

辻製油株式会社 研究員 伊藤 克

千葉県衛生研究所 上席研究員 橋本 博之

「皆が目指せるエレガントな論文作成 ~7 年間の NIH 留学経験から~」

藤田保健衛生大学大学院保健学研究科教授 京都大学名誉教授 斉藤 邦明

「地方衛生研究所における研究と論文のまとめ方」 埼玉県衛生研究所 化学検査室長 石井 里枝

参加者： 89 名

参加費： 会員 (個人・法人) 2,000 円、公的試験研究機関 (非会員) 3,000 円、大学 (非会員) 5,000 円、
企業 (非会員) 10,000 円

(2) ifa JAPAN 2017 食の安全・科学フォーラム第16回セミナー&国際シンポジウムの開催

テーマ: グローバルマーケットにおける食品のトータルな安全管理

From Farm to Table in Global Market

主催: 日本食品化学学会、日本食品衛生学会、日本食品微生物学会

共催: 食品化学新聞社、IFT、ILSI、中国食品添加剤・原料協会、JETRO、食品産業センター、日本食品衛生協会、日本食品添加物協会、日本香料工業会、日本酵素協会

日時: 2017年5月24日(水) 10時00分~16時50分(受付開始9時30分)

場所: 東京ビッグサイト 会議棟1階

演題及び講師:

第一部 世界の食品安全管理

「中国食品添加物法規格・基準概況」

張 俊波 (食品安全国家基準審評委員会秘書長)

「アメリカでのフードサステナビリティの取組」

Ruben Morawicki (アーカンソー大学 (IFT))

「東南アジア諸国連合 (ASEAN) における食品添加物規制ハーモナイゼーション」

Keng Ngee Teoh (味の素)

第二部 日本から安全な商品を世界に発信するには

「世界の食品香料規制の現状とグローバルハーモナイゼーション」

Sven Ballschmiede (IOFI 専務理事)

「世界に通用する食の安全管理とは」

一色 賢司 (一般財団法人 日本食品分析センター)

「酵素の規格、制度に係る世界の動向」

宇津羅 健作 (ナガセケムテック株式会社)

「グローバルマーケットにおけるマイコトキシン規格と我が国の取組み」

小西 良子 (麻布大学 生命・環境科学部食品生命科学科 教授)

参加者: 120名

参加費: 前売り一般全日 13,000円、前売り一般半日 8,000円、前売り会員全日 9,000円、前売り会員半日 6,000円、当日 18,000円

(3) 第23回総会・学術大会の開催

学会長: 奥村 克純 (三重大学大学院生物資源学研究科 教授)

日時: 2017年6月1日(木) ~ 6月2日(金)

場所: 伊勢志摩ロイヤルホテル (志摩市磯部町の矢字笠取 939-6)

学会長講演: 「エピジェネティクスと食品化学」

奥村 克純 (三重大学大学院生物資源学研究科教授)

特別講演(1): 「肥満・エネルギー代謝と食品機能」

河田 照雄 (京都大学大学院農学研究科教授)

特別講演(2): 「香りを感じる遺伝子と脳」

東原 和成 (東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

特別講演(3): 「食品安全行政の現状と課題」

山本 史 (厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部基準審査課長)

奨励賞受賞者講演:

「分子修飾による機能性食品成分の高機能化に関する研究」

片山 茂 (信州大学学術研究院 (農学系))

「安全性審査済み遺伝子組換え食品の検査法の開発」

高島 令王奈 (農業・食品産業技術総合研究機構食品部門食品分析研究領域)

「マウス非アルコール性脂肪性肝炎病態に Eicosapentaenoic acid と Docosahexaenoic acid が及ぼす影響」

煙山 紀子 (東京農業大学応用生物科学部)

一般発表: 口頭発表 22題、ポスター発表 66題

参加者数: 262名 (内訳: 会員 127名、非会員 54名、学生 46名、来賓等 35名)

関連行事: ① 評議員会 (6/1)、編集委員会 (6/2)

② 若手優秀発表賞

・口頭発表部門

A-2 「オリーブ葉水抽出物による食品ゲルの物性改変」

赤澤 隆志 (香川大学大学院能楽研究科)

A-12 「タマネギ成分のマクロファージ活性化制御を介した抗腫瘍作用と新たな抗ガン剤のリード化

合物としての可能性」

藤原 章雄(熊本大学大学院 科学研究部細胞病理学分野)

・ポスター発表 社会人 部門

B-4 「におい嗅ぎ分析をベースとした電子嗅覚システムによるコーヒーの産地識別」

加藤 久喜(東京アライドコーヒーロースターズ株式会社)

B-17 「シラカバ樹液の抗酸化作用と生活習慣病予防効果の検討」

三原 義広(北海道薬科大学薬学部基礎薬学系医薬化学分野)

・ポスター発表 学生 部門

B-28 「食品廃棄物系バイオマスからのベンゼン環を含まない新規有機蛍光物質の生産」

廣川 侑美(日大院・生資科)

B-36 「THP-1 由来樹状細胞を用いた食物タンパク質の抗原感作性評価」

鈴木 湧太(信州大学農学部)

③ 交流会(6月1日 18:00～ 参加者数 136名)

④ ランチョンセミナー 2件、企業展示 16件

参加費: 学術大会 会員 4,000円、非会員 6,000円、学生 1,000円

交流会 事前申込 7,000円、当日申込 9,000円、学生 3,000円

(4) 第33回食品化学シンポジウムの開催

担当理事: 小川 久美子(国立医薬品食品衛生研究所)

テーマ: 食品の表示と安全性の動向

日時: 2017年10月13日(金) 13:30～17:00

場所: 東京電機大学 千住キャンパス1号館(東京都足立区千住旭町5)

講演(1) 栄養成分関連添加物について 三重大学大学院医学系研究科 公衆衛生・産業医学分野 森田 明美

講演(2) 栄養成分表示のための分析方法に関する最近の話題

国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究部 竹林 純

講演(3) 食品添加物—特に栄養成分・加工助剤・酵素のリスク評価について

国立医薬品食品衛生研究所 病理部 高須 伸二

講演(4) 機能性関与成分の表示と機能性表示食品

国立医薬品食品衛生研究所 薬品部 合田 幸広

講演(5) 食品表示制度の現状と今後について

消費者庁 食品表示企画課 赤崎 暢彦

参加者数: 127名(会員 74、非会員 34、学生・招待・報道 9、座長・講師 7、主催者側 3名)

会費: 日本食品化学学会員/個人・法人会員 3,000円、非会員 5,000円

(5) 日本食品化学学会誌 第24巻の発行

第24巻1号の発行 発行日:2017年4月28日 発行部数:950部

論文5編 ノート1編 総頁数:60頁

第24巻2号の発行 発行日:2017年8月25日 発行部数:950部

論文4編 ノート2編 総頁数:62頁

第24巻3号の発行 発行日:2017年12月28日 発行部数:950部

論文2編 ノート4編 総頁数:53頁

(6) 理事会及び各種委員会の開催

理事会:2回、評議員会:1回、編集委員会:1回

(7) 会員数

2017年12月31日現在:個人会員 590名、法人会員 66法人、名誉会員 18名

(8) 共催、協賛・後援

1) 他団体が主催で、本学会が共催となる学術集会

依頼なし

2) 本学会が主催で、他団体に共催を依頼する学術集会の場合

第33回食品化学シンポジウム(日本分析化学会 表示・起源分析技術研究懇談会)

- 3) 他団体が主催で、本学会が協賛・後援となる学術集会の場合
 <協賛> フォーラム 2017 衛生薬学・環境トキシコロジー (日本薬学会環境衛生部会)
 第15回高付加価値食品開発のためのフォーラム (日本食品・機械研究会)
 第15回食品安全フォーラム (日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会)
 <後援> 第六回低温・氷温研究会 (氷温研究会)
- 4) 本学会が主催で、他団体に協賛・後援を依頼する学術集会の場合
 依頼なし

4-2. 決算報告書案

2017年度決算報告書(案)

(2017年1月1日~2017年12月31日)

収 入			支 出		
	予算金額	決算金額		予算金額	決算金額
会費(個人)	1,863,000円	1,779,000円	学術雑誌発行費	3,900,000円	3,600,734円
会費(法人)	2,460,000円	2,490,000円	学術大会費	400,000円	86,400円
会費(賛助)	0円	0円	シホジム費	200,000円	60,997円
投稿料	770,000円	594,000円	表彰費	470,000円	417,736円
広告料	840,000円	985,000円	会議費	250,000円	126,360円
雑収入	200,000円	172,248円	ホームページ運営費	140,000円	144,699円
			旅費・交通費	500,000円	423,794円
			賃借料	0円	0円
			印刷費	90,000円	37,174円
			郵送費	500,000円	504,030円
			振替手数料	80,000円	74,938円
			事務費	200,000円	129,336円
			予備費	50,000円	0円
(収 入)	(6,133,000円)	(6,020,248円)	(支 出)	(6,780,000円)	(5,606,198円)
前期繰越金	3,488,968円	3,488,968円	次期繰越金	2,841,968円	3,903,018円
合 計	9,621,968円	9,509,216円	合 計	9,621,968円	9,509,216円

2018年2月5日

事務局長 山崎 裕康



会計監査報告

上記の決算書を承認するとともに、会則に従って適正に執行されたと認めます。

2018年2月5日

監 事 井之上 浩



尾崎 麻子



5. 2018年度事業計画書案および収支予算書案の作成（総会提出議案）

下記の内容で総会への提出が承認された。

5-1. 事業計画書案

(1) 第24回総会・学術大会の開催

学 会 長： 中江 大（東京農業大学応用生物科学部 教授）

日 時： 2018年5月17日（木）～5月18日（金）

場 所： 東京ビックサイト（東京都江東区有明3-11-1）

学会長講演：「生活習慣病とがん：食事組成の変化による動物モデル（仮題）」

中江 大（東京農業大学応用生物科学部 教授）

特別講演①：「食品の安全性評価と食品安全委員会（仮題）」

吉田 易範（内閣府 食品安全委員会事務局 評価第一課長）

特別講演②：「Glucose Releasing Ratio to evaluate the quality of dietary carbohydrate（仮題）」

佐々木 一（神奈川工科大学 応用バイオ科学部生命科学科 教授）

特別講演③：「食品安全行政の現状と課題（仮題）」

関野 秀人（厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品基準審査課長）

特別講演④：「森林資源の有効利用～キノコの機能性と人工栽培を通して～（仮題）」

江口 文陽（東京農業大学 地域環境科学部森林総合科学科 教授）

奨励賞受賞者講演

一般発表： 口頭およびポスター

関連行事： ①若手優秀発表賞、②交流会（5/17、8F レストラン アルポルト）、③企業展示、④ランチョンセミナー

参加費： 学術大会 会員 4,000円、非会員 6,000円、学生 1,000円

交流会（予定） 事前申込 7,000円、当日申込 9,000円、学生 3,000円

(2) ifia JAPAN 2018 食の安全・科学フォーラム 第17回セミナー&国際シンポジウム

テ ー マ： 東京オリンピック・パラリンピックに向けた食品のトータルな安全管理

Mission of Food Safety for TOKYO 2020

主 催： 日本食品化学学会、日本食品衛生学会、日本食品微生物学会

共 催： ILSI、JETRO、食品産業センター、日本食品衛生協会、食品化学新聞社

日 時： 2018年5月16日（水） 10時00分～16時50分（受付開始9:30分）

場 所： 東京ビックサイト 会議棟6階 605・606

定 員： 250名

演題及び講師：

第一部 フードテロ対策の国際動向

「FDAのフードテロ対策と米国食品安全強化法（FSMA）（仮）」

米国大使館（仮）

「オリンピック・パラリンピックに向けたフードテロ対策」

農林水産省

「ロンドンオリンピックに学ぶフードテロ対策（仮）」

ジェニファー・モリス（英国食品基準庁）

第二部 オリンピック・パラリンピックを見据えた現場の食品安全対策

「HACCP制度化の動向と日本食品衛生協会の取組」

桑崎 俊昭（公益社団法人 日本食品衛生協会）

「小売業における食品安全対策について」

岸 克樹（イオンリテール株式会社）

「マルハニチログループが取り組む食品安全対策—フードテロとHACCP—（仮）」

中原 千秋（マルハニチロ株式会社）

「食中毒事例での発生要因解析から見える食中毒防止対策（仮）」

工藤 由起子（国立医薬品食品衛生研究所）

(3) 第34回食品化学シンポジウムの開催

担当理事： 井上理事
 テーマ： キーワード案／食品衛生法、食品安全基本法
 日時： 2018年秋
 場所： 東京（予定）
 定員： 150名程度
 会費： 会員3,000円、非会員5,000円（予定）

(4) 日本食品化学学会誌 第25巻の発刊

第25巻1号 2018年4月発刊予定
 第25巻2号 2018年8月発刊予定
 第25巻3号 2018年12月発刊予定

(5) 理事会および各種委員会の開催

理事会： 1回、評議員会： 1回、編集委員会： 1回

5-2. 収支予算書案

(2018年1月1日～2018年12月31日)

収 入			支 出		
項目	単価	予算金額	項目	数	予算金額
個人会員(583名)	¥3,000	¥1,749,000	学術雑誌発行費	3	¥3,300,000
個人会員(滞納分)	¥3,000	¥138,000	学術大会費	1	¥400,000
法人会員(66社82口)	¥30,000	¥2,460,000	シンポジウム費	2	¥200,000
法人会員(滞納分)	¥30,000	¥30,000	表彰費		¥380,000
賛助会員(0社)	¥30,000	¥0	会議費		¥250,000
投稿料等		¥600,000	ホームページ費		¥160,000
広告料		¥900,000	旅費・交通費		¥500,000
雑収入		¥150,000	印刷費		¥90,000
			郵送費		¥500,000
			振替手数料		¥80,000
			事務費		¥200,000
			予備費		¥50,000
(収入)		¥6,027,000	(支出)		¥6,110,000
前期繰越		¥3,903,018	次期繰越金		¥3,820,018
合計		¥9,930,018	合計		¥9,930,018

6. 第20回奨励賞受賞者の決定

合田編集委員長より編集委員から推薦された候補について説明がなされ、選考の結果、下記論文に授与することが決定された(五十音順)。

- 候補者: 齊藤(北岡)千佳(麻布大学 生命・環境科学部食品生命科学科 助教)
「二枚貝をはじめとした各種食品中呈味成分の食品化学的研究」
- 候補者: 政田 さやか(国立医薬品食品衛生研究所生薬部 主任研究官)
「薬用植物を基原とする健康食品の品質評価に関する研究」

7. 第13回論文賞、(広告主)論文賞の決定

合田編集委員長より編集委員から推薦された候補について説明がなされ、選考の結果、第13回論文賞として、下記論文に授与することが決定された(学会誌掲載順)。

- 「既存添加物チャ抽出物中のカテキン類含量と抗酸化力価の関係」
島村 智子、伊藤 裕才、久保 勇人、柏木 丈弘、石川 洋哉、松井 利郎、山崎 壮、多田 敦子、杉本 直樹、穂山 浩、受田 浩之
- 「Hexane extract of raw ginger enhances adipocyte differentiation through its PPAR γ ligand activity on 3T3-L1 preadipocytes」
Hideaki Kaneoka, Suguru Ito, Yuko Araki-Hashikawa, Takeo Yano, Katsuzumi Okumura, Norihiro Nishimura, Kazuhiro Kagotani

合田編集委員長より広告主論文賞について株式会社島津製作所から申請があり、編集委員会からの候補について説明がなされ、下記論文に授与することが決定された。

- 「ビルベリー由来アントシアニンを機能性関与成分とする機能性表示食品の分析」
政田 さやか、内山 奈穂子、合田 幸広、袴塚 高志

8. 日食化誌の予定と進捗の報告

合田編集委員長より投稿および審査状況は順調であることが報告された。

9. 2018 - 2019 年度編集委員の承認

新任1名を含む29名が、2018-2019年度の編集委員として承認された。

(50音順)

氏名	新任	所属
合田 幸広		国立医薬品食品衛生研究所薬品部長
穂山 浩		国立医薬品食品衛生研究所食品部長
石井 里枝		埼玉県衛生研究所化学検査室長
一色 賢司		一般財団法人日本食品分析センター学術顧問
岡 尚男		金城学院大学消費生活科学研究所客員研究員
小川 雅廣		香川大学農学部応用生物科学科教授
小関 良宏		東京農工大学工学部生命工学科教授
川原 信夫		医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センターセンター長
魏 民		大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学准教授
橋田 和美		農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門食品分析研究領域信頼性評価ユニット長
庄司 俊彦		農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所（本所つくば）健康機能性チーム
白杉 直子		神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間環境学専攻食環境学研究室教授
田口 貴章	○	国立医薬品食品衛生研究所食品部室長
田中 卓二		岐阜市民病院病理診断科部長・病理診断研究センター長
田村 倫子		東京農業大学応用生物科学部食品安全健康学科食品利用安全学研究室准教授
辻村 英雄		サントリー食品インターナショナル株式会社取締役副社長
手島 玲子		医薬品医療機器総合機構嘱託
中江 大		東京農業大学応用生物科学部食品安全健康学科食品安全評価学研究室教授
西島 基弘		実践女子大学生活科学部名誉教授
林 新茂		三栄源エフ・エフ・アイ株式会社安全性科学部部長
米谷 民雄		国立医薬品食品衛生研究所名誉所員
松藤 寛		日本大学生物資源科学部食品生命学科教授
水上 元		高知県立牧野植物園園長
三宅 義明		愛知淑徳大学健康医療科学部健康栄養学科教授
森川 敏生		近畿大学薬学総合研究所教授
矢野 竹男		三重大学大学院地域イノベーション学研究科教授
山崎 裕康		神戸学院大学薬学部教授
吉岡 靖雄		大阪大学微生物病研究所 BIKEN 次世代ワクチン協働研究所特任准教授
良永 裕子		麻布大学生命・環境科学部食品生命科学科教授

10. 名誉会員の推薦（総会提出議案）

米谷民雄氏を名誉会員として推薦することが決定された。

11. 評議員会提出議案について

議案として、以下の議案を提出することとなった。

- (1) 次期理事候補の推薦について
- (2) 本会の会務・事業などに関する意見など

12. 2019年度シンポジウム専門担当理事の選任

鰐淵理事が2019年度シンポジウム担当理事に選任された。

13. 次々期（2020年度）学会長の総会への推薦（総会提出議案）

次次期学会長として、金谷重彦氏（奈良先端化学技術大学院大学）を理事会より推薦することが承認された。

14. その他（その他の総会提出議案、本会の運営に関すること等）

(1) 報告事項

・ 大阪市立大学 健康・疾患バイオリソースセンターの共同利用・共同研究拠点化に関する要望書の提出について
理事長および鰐淵理事より上記事項について報告がなされた。

(2) 会員分布について

2017年第1回理事会において検討された個人情報を含まない形で作成された会員分布表を元に、会員増加について話し合われた。

(3) 会則の改定について（総会提出議案）

第10条(3)理事「15名」を「15名以内」とする案を総会へ提出することが承認された。

第10条(5)評議員「30名以内」を「20～30名程度」とする案を総会へ提出することが承認された。

以上